

GIGA スクール構想の取り組みについて

1 リーディング DX スクール事業

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を、働き方改革と両立させる形でつなげる挑戦に不可欠なインフラとして1人1台のGIGA端末が整備された。

全国各地では意欲的な取組が次々と生まれつつある一方で、端末を日常的に活用している学校とそうでない学校との間で大きな差が生じていることから、GIGA端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を徹底的に活用し、情報活用能力の育成を図りつつ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実や校務DXを推進し、全国に好事例を展開することとする。

全国では97団体、山梨県では3団体、本市では塩山南小学校、塩山中学校が指定された。（活動状況は別紙）

2 学校情報化認定事業

教育の情報化の推進を支援するために、学校情報化診断システムを活用して、情報化の状況を自己評価し、総合的に情報化を進めた学校を認定する事業である。

また、「情報化の推進体制」を整え、「教科指導におけるICT活用」「情報教育」「校務の情報化」に積極的に取り組んでいる学校を称え、学校情報化優良校として認定される。さらには、学校情報化優良校が一定以上の割合になった地域を学校情報化先進地域として認定される。